

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2002-55779 (P2002-55779A)

【公開日】平成 14 年 2 月 20 日 (2002.2.20)

【出願番号】特願 2000-239106 (P2000-239106)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/033

G 0 6 F 3/03

【F I】

G 0 6 F 3/033 3 5 0 G

G 0 6 F 3/03 3 3 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 20 日 (2003.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

指示具から座標入力面に照射された光を座標検出器により検出することにより、前記座標入力面への前記光の照射位置に対応した座標出力信号を生成する座標入力装置であって、前記座標入力面上の所定位置への前記光の照射により得られる座標検出器の出力情報として、座標系毎の座標値を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に出力情報として記憶される座標値から、所定の座標系に関する座標値を選択する選択手段と、前記選択手段で選択された座標値に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算する演算手段とを備えることを特徴とする座標入力装置。

【請求項 2】

前記演算手段は、前記選択手段で選択された座標値によって決定される原点に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 3】

前記演算手段は、前記選択手段で選択された座標値によって決定される倍率に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 4】

前記演算手段は、前記座標入力画面上の前記光の照射位置が前記座標入力画面上の固定入力エリアかどうかを判定し、その判定結果に基づいて、前記前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 5】

指示具から座標入力面に照射された光を座標検出器により検出することにより、前記座標入力面への前記光の照射位置に対応した座標出力信号を生成する座標入力装置の制御方法であって、前記座標入力面上の所定位置への前記光の照射により得られる座標検出器の出力情報とし

て、座標系毎の座標値を記憶媒体に記憶する記憶工程と、  
前記記憶工程で前記記憶媒体に出力情報として記憶される座標値から、所定の座標系に関する座標値を選択する選択工程と、  
前記選択工程で選択された座標値に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算する演算工程と  
を備えることを特徴とする座標入力装置の制御方法。

【請求項 6】

前記演算工程は、前記選択工程で選択された座標値によって決定される原点に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 5 に記載の座標入力装置の制御方法。

【請求項 7】

前記演算工程は、前記選択工程で選択された座標値によって決定される倍率に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 5 に記載の座標入力装置の制御方法。

【請求項 8】

前記演算工程は、前記座標入力画面上の前記光の照射位置が前記座標入力画面上の固定入力エリアかどうかを判定し、その判定結果に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算することを特徴とする請求項 5 に記載の座標入力装置の制御方法。

【請求項 9】

指示具から座標入力面に照射された光を座標検出器により検出することにより、前記座標入力面への前記光の照射位置に対応した座標出力信号を生成する座標入力装置の制御のプログラムコードが格納されたコンピュータ可読メモリであって、  
前記座標入力面上の所定位置への前記光の照射により得られる座標検出器の出力情報として、座標系毎の座標値を記憶媒体に記憶する記憶工程のプログラムコードと、  
前記記憶工程で前記記憶媒体に出力情報として記憶される座標値から、所定の座標系に関する座標値を選択する選択工程のプログラムコードと、  
前記選択工程で選択された座標値に基づいて、前記座標入力画面上の前記光の照射位置を演算する演算工程のプログラムコードと  
を備えることを特徴とするコンピュータ可読メモリ。